学校番号	301

令和５年度　芸術（美術）

教科	芸術	科目	美術Ⅲ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「高校生の美術 3」　（日本文教出版）						
副教材等							

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

■感じ取ったことから考える「絵画・彫刻」目的や機能から考える「デザイン」感じ取ったこと・目的や機能から考える「映像メディア表現」と「鑑賞」の分野について学習します。
■一人ひとり、思いや見方、感じ方が違います。表現形式の特性や形体・色彩などについて着目して、自分なりの感じ方や見方、表現を深めていきましょう。違った見方を「鑑賞」で共有すると、表現や感性が更に広がったり深まったりします。

２　学習の到達目標

美術の創造的な諸活動を通じて、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を豊かにし、生活や社会の中の多様な美術や美術文化と深く関わる資質・能力の育成を目指します。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:美術への関心・意欲・態度	b:発想や構想の能力	c:創造的な技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。	感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて、表現方法を工夫している。	美術作品などの表現の工夫や美術文化などを理解し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	制作の様子 ワークシート 鑑賞活動やグループワークの様子	ワークシート アイデアスケッチ 制作途中の作品 作品	制作途中の作品 作品	ワークシート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	題材名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	凹版画 エッチング	【絵画・彫刻】 ・作品例を紹介と説明。 凹版画制作の理解。 アイデアスケッチ ・版を彫り進める。 ・彫りあがった版を腐食する。 ・版にインクを詰め、プレス機で刷る。 ・材木をカットし、彩色。額装し、完成。 ・校内展示	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○	a:版画表現に興味をもち、工程を理解し、表現の効果や美しさに関心をもって主体的に取り組もうとしている。 b:線画の表現やハッチングの効果などに関心をもち、自分の世界観を大切にした主題を練っている。 C：版画の可能性を追求しようとする姿勢がみられ、表現方法に工夫して、試作を繰り返すなど粘り強く制作し、効果的は表現を追及している。 d：版画表現に美しさやよさを感じ、理解している。	アイデアスケッチ ワークシート 学習活動の様子 制作の様子 完成作品 ﾚﾎﾟｰﾄ
前期	陶制作	【絵画・彫刻】【鑑賞】 ・手ひねりでの作陶の手順を説明、鑑賞 ・湯のみ茶碗の制作。粘土の特性を理解し、ひも作りで　基本的な形を作る。ほか各自の制作。 ・乾燥、削りを行い、持ちやすい形体を体感する。 ・素焼き、釉薬、本焼成。 ・出来上がった作品を生徒間で鑑賞し、感想を発表する。	○ ○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○	a:陶土で制作することに興味を持ち、表現活動に主体的に取り組もうとしている。 b:粘土の特性を理解して、表現について可能性をひろげて構想を練っている。色の組み合わせを考えて構想している。 c:陶土の表情や手ひねりの効果に関心をもち、表現方法を工夫しながら美しい作品を制作している。 d：他者の表現工夫や観察力を感じ取ることができる。	ワークシート 制作の様子 制作途中の作品 完成作品

後期	キーホルダー制作	【デザイン】【鑑賞】 ・作品例鑑賞。制作工程の説明。 ・金属を流し込む際の留意点を考慮しデザインを決める。 ・厚紙をカットし、型を制作する。金属を熱し、溶かし、型に流し込む。 ・流し込み時にできた凸凹をやすりで研ぐ。 ・表面を金属磨き粉などで研磨し、仕上げる。 ・校内展示	 ○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○	 ○ ○ ○	○ ○	a:意図や表現を考えて表現することに興味を持ち主体的に活動している。 b:金属の特性を生かし、できる条件内で表現できる内容を工夫し構想を練っている。 c:材料の美しさを理解し、表情に工夫して効果的に、かつ、条件や計画を基に表現している。 d:作品のよさについて理解を深めている	ワークシート アイデアスケッチ 制作の様子 制作途中の作品 完成作品 鑑賞レポート
後期	絵画制作	【絵画・彫刻】【鑑賞】 ・制作計画とアイデア ・構想 ・描画する ・完成作品に仮額装する ・校内展示	 ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○	 ○ ○ ○	 ○	a:主題をみつけ自分の表現したいモチーフや風景などを決め、表現活動に主体的に取り組んでいる b:表現や色彩や材料の効果を工夫し、構図や構想を練っている。 c:表現したい世界観に基づき、画材の色彩効果や、表現方法を工夫して計画的に制作をしている。 d:他の作品のよさや作者の意図を汲み取り作品に対して理解を深めている。	ワークシート アイデアスケッチ 制作の様子 途中の作品 制作経過 完成作品 鑑賞レポート

※　表中の観点について　a:美術への関心・意欲・態度　b:発想や構想の能力
c:創造的な技能　d:鑑賞の能力

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。